中間検査チェックシート　Ｃ７表(補強コンクリートブロック造)

※工事監理者は、太枠内のみ記入すること

検査項目		照合内容		工事監理者	検査記録		
					Ａ：目視検査 Ｂ：実測検査 Ｃ：監理者報告	結果	修正
1	全体形状及び部材の配置	ア	建築物の平面形状		Ａ：Ｂ：Ｃ	適・否	
		イ	耐力壁の配置		Ａ：Ｂ：Ｃ	適・否	
2	使用材料	ア	ブロックの種別、仕様		Ａ：Ｂ：Ｃ	適・否	
3	耐力壁	ア	耐力壁の長さ		Ａ：Ｂ：Ｃ	適・否	
		イ	耐力壁の厚さ		Ａ：Ｂ：Ｃ	適・否	
		ウ	補強鉄筋の径、本数、配置		Ａ：Ｂ：Ｃ	適・否	
		エ	補強鉄筋の継手位置、定着長さ、フック		Ａ：Ｂ：Ｃ	適・否	
		オ	補強鉄筋の基礎及び臥梁等への定着		Ａ：Ｂ：Ｃ	適・否	
4	臥梁・床版	ア	臥梁の形状、寸法		Ａ：Ｂ：Ｃ	適・否	
		イ	鉄筋の径、本数、配置等		Ａ：Ｂ：Ｃ	適・否	
		ウ	鉄筋の継手位置、定着長さ		Ａ：Ｂ：Ｃ	適・否	
		エ	鉄筋のかぶり厚		Ａ：Ｂ：Ｃ	適・否	
5	目地・空洞部	ア	目地モルタルの状況		Ａ：Ｂ：Ｃ	適・否	
		イ	空洞部の充填		Ａ：Ｂ：Ｃ	適・否	
6	その他	ア	型枠内の清掃状況		Ａ：Ｂ：Ｃ	適・否	
		イ			Ａ：Ｂ：Ｃ	適・否	
		ウ			Ａ：Ｂ：Ｃ	適・否	
		エ			Ａ：Ｂ：Ｃ	適・否	
		オ			Ａ：Ｂ：Ｃ	適・否	

※　工事監理者は、工時監理者欄に検査結果の適否を記入し、中間検査申請書と同時に提出すること。
　　なお、否となった事項については、それに対する措置等を下記に記入すること。

工事監理者への指摘事項等	中間検査	合格・不合格・合格保留	後続工程	可・不可	工事監理者名(検査立会者)